



# アルゼンチン通信



第20号 2026年03月31日発行(毎月月末発行予定)

JICAシニア海外協力隊2024年1次隊:経営管理

玉東町グローバル2024年03月卒業生

鈴木功二 サンティアゴ・デル・エステロ在住

・3月は、バケーションシーズンが終わり、学校も新学期、日の出は遅くなり、朝は7時でも暗く気温は20℃ほどで、秋たけなわといった感じです。秋を感じる紅葉をここでは見ることはできませんが、夜、寝静まった後、コオロギの虫の音で秋を感じています。

・こちらの人は、ちょっと気温が上がると「暑い」を連呼、今年は雨が多いためか「蒸し暑い」を連呼する人が多いのですが、私にとっては爽やかで過ごしやすい気候です。

・3月の祝日は、23日が「観光促進休日」、24日が「真実と正義を記念する国家記念日」で、土日と合わせて4連休でした。ちょうど50年前の1976年3月24日、クーデターによって軍事政権となり、以後7年は「汚い戦争」と呼ばれる厳しい弾圧があったようで、今の自由なアルゼンチンからは想像できません。日本で軍事クーデターというと、失敗に終わった1936年の2.26事件が思い浮かびます。クーデターは成功/失敗に関わらず、犠牲者がつきものですが、国を憂える想いは同じなので、それをもっと建設的な方向に向けることができなかつたのかと残念に思います。

・私事で恐縮ですが、3月は2件のアクシデントがありました。1つは、私は列車で通勤しているのですが、その列車が故障の為、すでに5日間運休していて、当分の間、運休しそうです。公共交通機関が長期に止まることは私にとって初めての経験で、同僚は「これがアルゼンチン」だそうです。事務所まで二駅しかないのでも歩いて行くこともできるのですが、同僚からは、「事務所周辺は治安が良くないから歩くな」と言われています。かつてのカラスやヨハネスブルクに比べれば、ずっと治安が良いように感じるのですが、窃盗や麻薬関連の事件が多いようです。もう一つは、自宅のシャワーヘッドが壊れたことで、これも人生初経験です。私が住んでいるアパートは新築ですが、水質が悪く、時々濁ることがあり、日本から持参した浄水器のフィルターがすぐ目詰まりしてしまいます。土のほこりが風に舞う風景を見ることが多く、おそらく多くの不純物が水に含まれているのが一因と思われそうですが、それにしても、一年半ほど使っただけで壊れるとは、..、1月も洗濯機の水道ホースのつなぎ目から水漏れ、こういったことは住んで初めて判ることです。

現在、5日連続運休中の列車。この写真は、途中で動かなくなり、線路を歩いた時で、警官が常に一人同乗してくれます。左側は3万人収容のスタジアム。



シャワーヘッドの外観。一年半使っただけで、赤い矢印の箇所から水漏れするようになりました。



自室の洗面所、時々、水が濁ります。



シャワーヘッドの中を開けるとゴムが入っており、そのゴムが劣化して、水漏れの原因であることが判りました。



・今回はアルゼンチン10選、私がアルゼンチンに住んで1年半、アルゼンチンの良いところを10項目に厳選して報告します。

### 1) 考え方が大らかで小さなことにこだわらない、些細なことを気にしない。

・決められたスケジュールを守ろうと私は肩に力が入りがちですが、こちらの人はあくせくせずマイペース、気持ちもゆったり、人口密度が低い為か、場所的なスペースもゆったり。日常生活がギスギスしておらず、緊張する場面が少ない。経済的には困窮していても慌てていないように見え、自殺率が日本と比べてずっと低いのは、うなずける。

### 2) 家族第一で、家族と過ごす時間を大切に使う。

・残業をほとんどすることはなく、日曜日のアサード(焼肉パーティー)や一カ月のバケーション等で、家族と過ごし、何げない日常会話を交わすことが幸せの一つの形になっている。その為か、手続きの煩雑さや宗教的な理由もあるかもしれないが、離婚率は日本より低い。

### 3) 即興力があって、その場をなんとなく上手く収める。

・原稿なしの即興でスピーチをする人が多く、淀みなく話し続けることに感心する。ちゃんとした計画や準備ができていながら不安になることがあるが、終わってみると案外上手くいったことが多い。状況に合わせて対応できる力量や柔軟性、そういったことに良しとする価値観を持っているように見える。前もって計画すれば更に良い結果が期待できると思うのは私の素人考えで、綿密な計画を立てると彼ららしさがなくなってしまうのかもしれない。

### 4) 組織内の人間関係が良好。

・おしゃべり好きな人が多く、朝のティータイムや昼食時に会話が絶えることなく、インフォーマルコミュニケーションが充実している。誕生日会が行われる組織が多い。感情が入った大きな声や大きな音になることがあるので、喧しいなと感じることはあるが、楽しく騒いでいるので、気にはならない。

### 5) 肉が美味しく、野菜果物ワイン等が比較的安価。

・肉は、1年前と比べて倍近く値上がりしているとはいえ、日本よりは安い。日本の薄切りではなく、「肉の塊」なので、これぞ肉を食べている気分になる。ほぼ毎日、肉を食べているので、一生分の肉を食べた気がする。

・肉にはワインが合う。ワインは、肉ほど値上がりしておらず、日本より安い。肉とワイン、健康診断に影響しないか心配だが、やめられない。

・野菜も、天候不良で最近値上がりしているとはいえ、たまねぎ、レタス、芋等、規格外品であるものの、日本より安い。

### 6) 日常の挨拶が丁寧。

・特に毎朝の挨拶が丁寧。私は「おやよう」だけですましていますが、一人ひとり、右ほおにキスし合う人もいる。また、挨拶の後に名前を加えるのが常で、親近感が醸成される。そのような習慣があるのか、名前を覚えるのが得意な人が多い。逆に私は不得手。街中を散歩していると、突然、私の名前前で声かけられることがあるが、とっさに私は相手の名前を思い出すことができず、申し訳なく思う。

### 7) 服装に気を使わなくて済む。

・背広やネクタイは、ここで一度も着用したことがない。昨日と同じ服装でも、特に何も言われない。外出時に靴を脱ぐことがないので、靴下に穴が開いていても気にならない。事務所が冷房の効きすぎで寒かったり、気温の変化が大きかったりするので、風邪を引かないように一枚上に羽織る準備だけはしている。

### 8) 湿度が低い為、日本のような蒸し暑さがない。(肌には良くないが)

・今年は雨が多い為か、例年より湿度が高めだが、日本の梅雨や夏よりは低い。従って、日向の直射日光は暑く、気温が40℃もあると熱を感じるが、日陰に入れば耐えられない暑さではない。真冬でも、氷点下になることはなく、日中は温かく、暖房を使うことはない。

### 9) 移民で成立してきた国の為か、初めての人や外国人にも話し掛けてくれるフレンドリーさ。

・肉屋や野菜屋、理容室等の店員は、私と世間話をしてくれる。駅や公園のベンチに座っていると、物売りから話し掛けられるが、全く知らない人からも世間話で話し掛けられることがある。そんな環境にしていると、私も訊きたいことがあると、気軽に知らない人にも話し掛けることができる。

・図書館員や同じアパートの住人等、一度知り合いになると、相手側から挨拶してくれる。

### 10) 物事が予定通りに進まないことや待ち続けることへの耐性が強い。

・社会保障庁(役所)や病院、スーパーマーケットのレジの前等で、人々は列を作って黙々と並ぶ。列に並ぶのは時間のムダと思わないのか、不平を言う人やイライラする人はいない。つい数年前は年200%を超えるインフレを経験していることもあったか、様々な制約がある中で、幸せや楽しみを見つけることに長けているように見える。